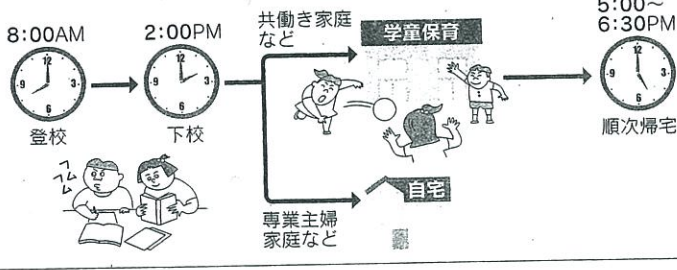


学童保育 私立小にも

| | 公立 | 民間・一般的なもの | 同・私立小のもの |
|------|----------------|------------|-------------------|
| 対象 | 日中保護者が家にいない小学生 | 希望者 | 在校生 |
| 場所 | 児童館や空き教室など | 民間ビルなど | 学校敷地内 |
| 費用 | 4千～8千円程度(1カ月) | 数万～十数万円(同) | 数万円程度(同) |
| 過ごし方 | 宿題・おやつ・遊びなど | 有料プログラムや夕食 | 卒業生や保護者による有料プログラム |

小学生(低学年)の平日の過ごし方の例



やつを食べたり遊んだりして過ごす。多くは公立の児童館など公的施設内にある。ただ、共働き家庭の増加で、近年は公立の学童保育を利用したくても利用できない待機学童が増えている。私立小の学童保育も過半数に達している。公立学童には定員超過で入れない場合がある。小学校に学童保育があるのは心強い」と話す。同校の「JWUほづめいこどもクラブ」には148人が登録(16年度実績)。今春は新1年生120人の51人が登録した。定期利用で月1万～5万円。単発は1回3千円。年間登録料1万円が別途必要。内容にもこだわり、卒業生のプロゴルフの室内ゴルフ教室や同大児童学科の学生による紙人形劇もある。「学童保育があるからと受験、入学を決めた家庭もある」

学童保育は日中保護者が家にいない小学生が放課後に来て宿題をし、お

平日は授業終了後から午後6時半まで開室。夏休みと冬休み、学校行事の代休日は午前8時15分から開く。定期利用の料金は30分350円、単発利用だと同450円、90分から1600人が登録している。

「あ、お手つき」「早かったね」。平日午後4時半すぎ、聖心女子学院(東京・港)の敷地内の一室で小学生がカードゲームを楽しむ。

同校は2016年4月、学童保育「ジョアンニークラブ」を開校。この日は1～4年生20人以上が利用、うち10人が夕方まで過ごしていた。大山江理子校長は「社会に貢献する女性を育てる学校として、仕事を持つ母親を支援する学童保育は不可欠」と話す。

働くママの需要増 ◆ゴルフも教えます

働くママの需要増 ◆ゴルフも教えます



聖心女子学院初等科の学童保育「ジョアンニークラブ」で遊ぶ児童(東京都港区)

働く母親の小学受験熱が高まっている。かつて、私立や国立を受験するのは専業主婦家庭が多かったが「16年度は大半が働く母親と話すのは、幼児教育の拓人こども未来(東京・中央)の鈴木愛子・直営運営部長。

同社の教室「チャイルド・アイズ」の芝浦校(同・港)に通う子どもの母親の7割が働いている。そのため「土曜日午前の未就学児クラスは争

高まる「お受験」熱

奪戦だ」という。東京都の小学1年生は約10万人。伸芽会教育総合研究所によると、17年度入学者の都内の入試出願者数は有名私立小学校(15校)で7760人、国立小学校(6校)は1万2395人。少子化にもかかわらず08年以降増加傾向。働く母親の参入も下支え要因とみられる。以前は、働く母親は多忙で学校行事に協力的でなく、動きは加速しそうだ。

と篠原真澄校長。関東以外でも広がる。大阪信愛女学院小学校(大阪市)や眉山女学院(大阪府)や海釣り体験など、毎日2種類以上のメニューがある。(南優子)

日経電子版

http://www.nikkei.com/

お問い合わせ(7:00～21:00)

0120-24-2146